

株式会社ナガワ

決算説明資料

—— 2025年3月期 通期 ——

当社は2025年1月27日の適時開示のとおり、
2024年11月29日付けで当社の子会社であったNAGAWA OY CONSTRUCTION Co.,Ltd.の清算が終了したことに伴い、
2025年3月期第3四半期会計期間より非連結決算に移行しました。

2025.5.15

2025 年 3 月期 通期

決算概況

当社は2025年1月27日の適時開示のとおり、
2024年11月29日付けで当社の子会社であったNAGAWA OY CONSTRUCTION Co.,Ltd.の清算が終了したことに伴い、
2025年3月期第3四半期会計期間より非連結決算に移行しました。

2025年 ▶ 単体

2024年 ▶ 連結

決算概況－B/S

	連結	連結	単体	YonY	
	FY2023 22年4-3月	FY2024 23年4-3月	FY2025 24年4-3月	増減	増減率
※単位：百万円					
流動資産	23,428	20,147	23,974	3,827	19.0%
貸与資産	11,541	13,514	14,339	825	6.1%
固定資産	35,378	46,729	45,783	△946	△2.0%
総資産	58,806	66,876	69,758	2,882	4.3%
流動負債	5,246	5,273	6,512	1,239	23.5%
純資産	53,480	59,725	61,672	1,947	3.3%
自己資本比率 (%)	90.9%	89.3%	88.4%	△0.9pt	-
1株当たり純資産 (円)	3,401.25	3,800.91	3,946.26	145.35	3.8%

決算概況－P/L

当会計年度（2024年4月1日～2025年3月31日）におけるわが国経済は、円安を背景に過去最高の消費額を記録した一方、需要増加による物価上昇及び人手不足、アメリカの通商政策や金融政策による影響を受け景気変動の不確実性が高まり、先行きが不透明な状況が続いております。

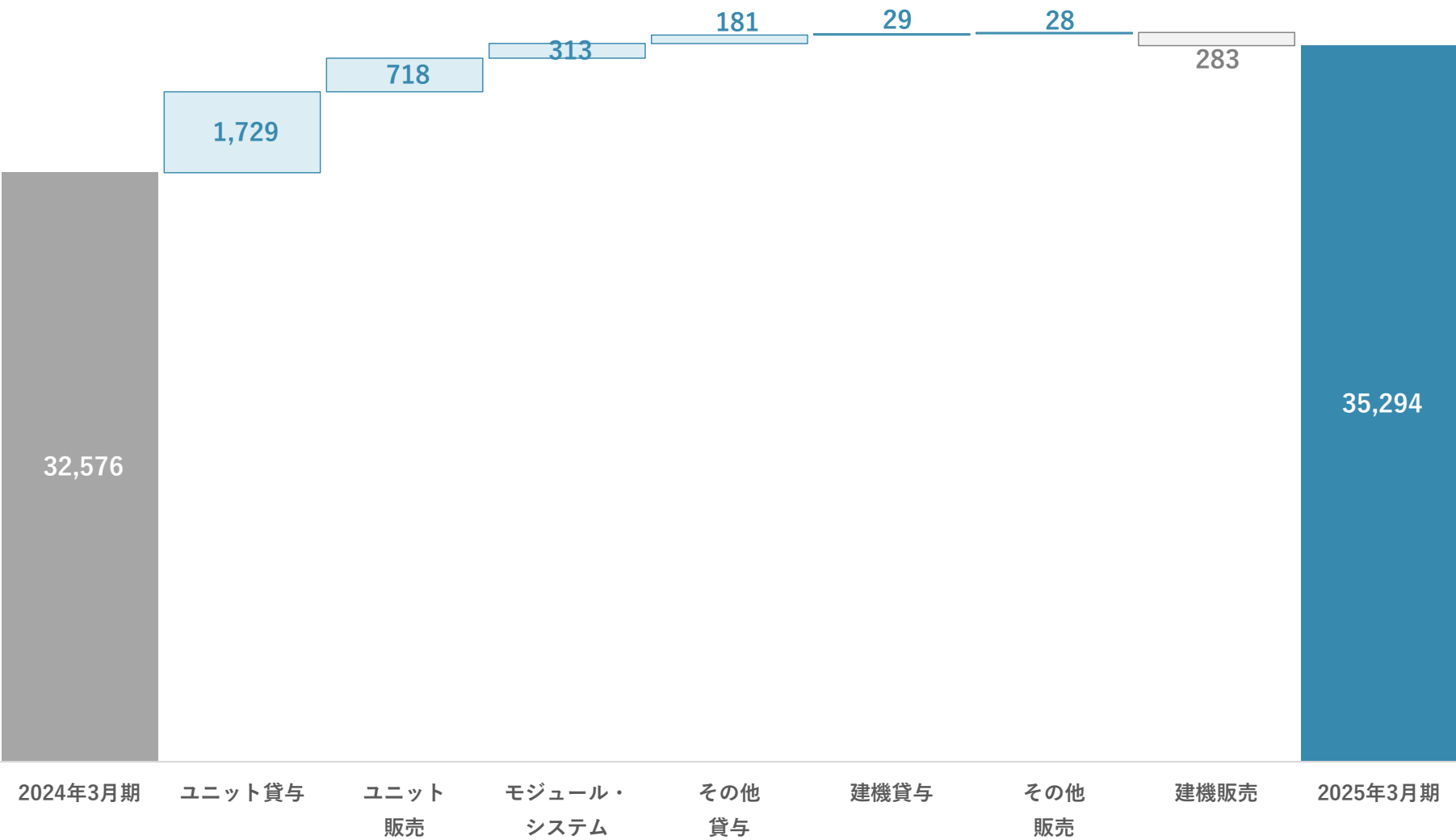
このような環境のもと、前期に行った展示場新規出店や、工場への全自動溶接ロボット導入による省人化を通じて受注体制及び生産体制の強化を行ってきました。さらに、展示場への集客のためキャンペーンの実施や、インフルエンサーを活用した施策を実施することで新棟販売の強化を図ると共に、3DパースやVRと積極的に活用して、モジュール建築の受注拡大に努めてまいりました。

	連結	連結	単体	YonY	
	FY2023 22年4-3月	FY2024 23年4-3月	FY2025 24年4-3月	増減	増減率
※単位：百万円					
売上高	31,652	32,576	35,294	2,718	8.3%
売上総利益	12,862	13,165	13,824	659	5.0%
営業利益	4,308	4,241	4,299	58	1.4%
経常利益	4,674	4,643	4,803	160	3.4%
当期純利益（※）	3,130	3,119	4,213	1,094	35.1%

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益を示す。

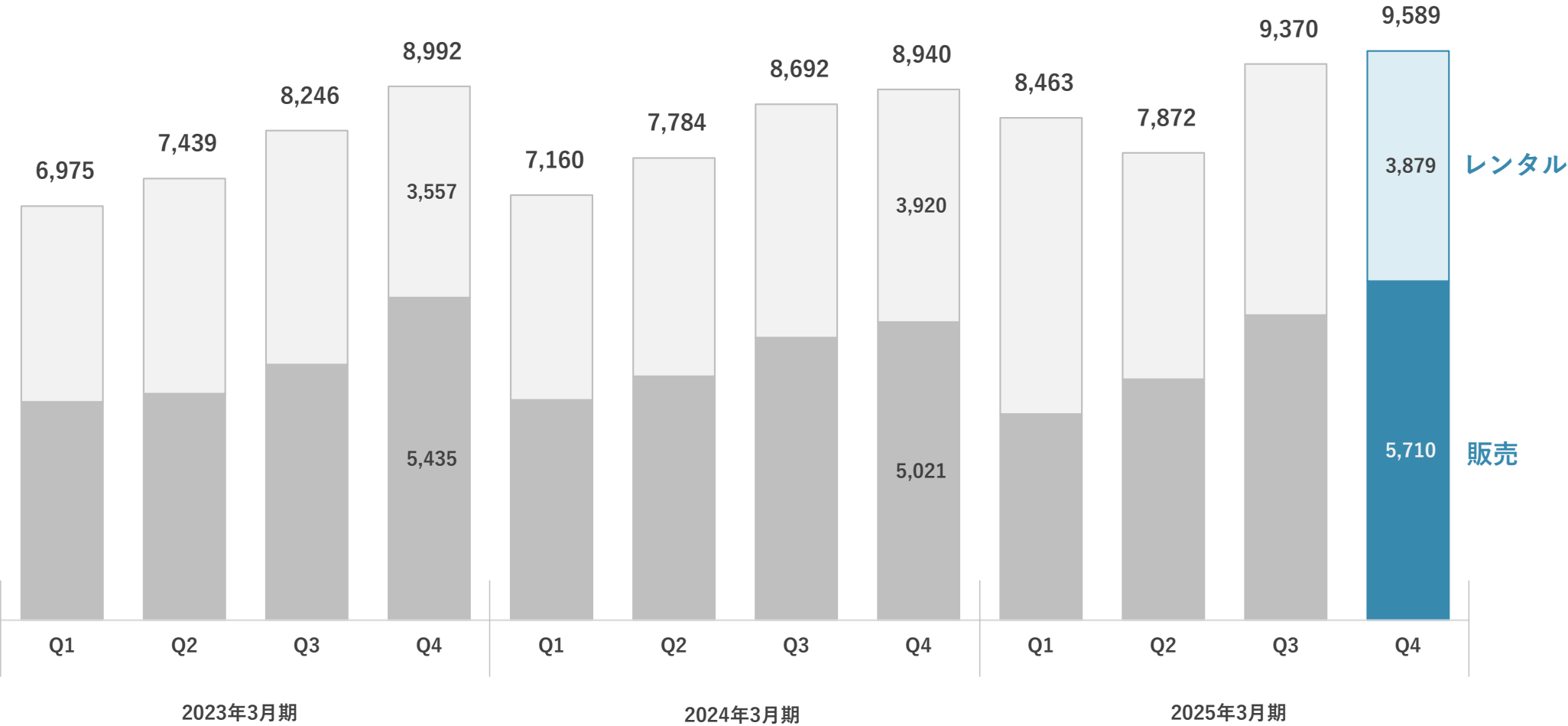
決算概況－要素別売上高増減

(単位：百万円)



決算概況－四半期ごとの売上高推移

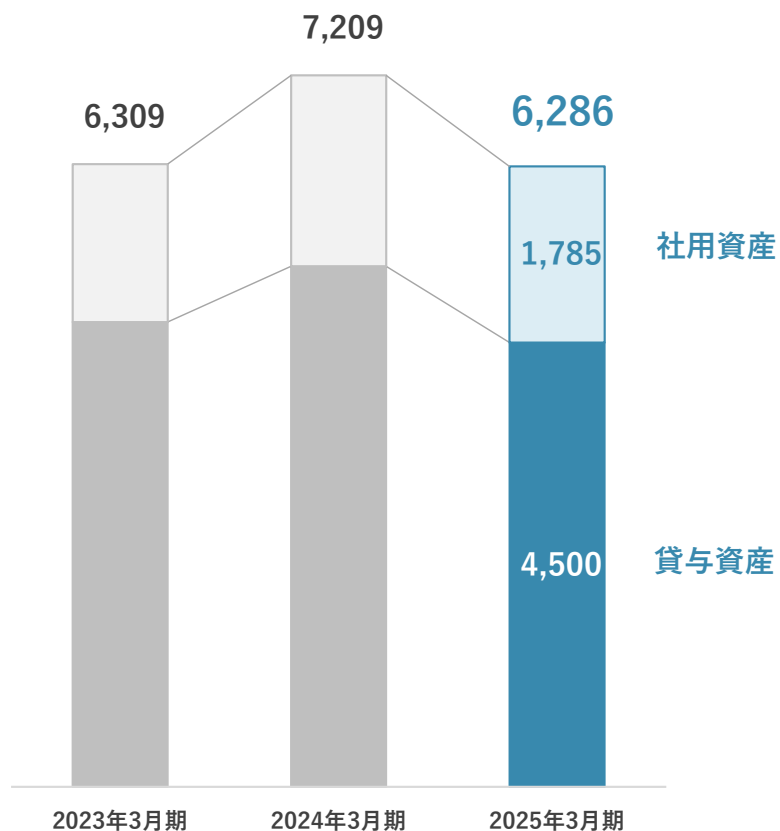
← 連結 → ← 単体 →



設備投資額と減価償却額

設備投資額推移

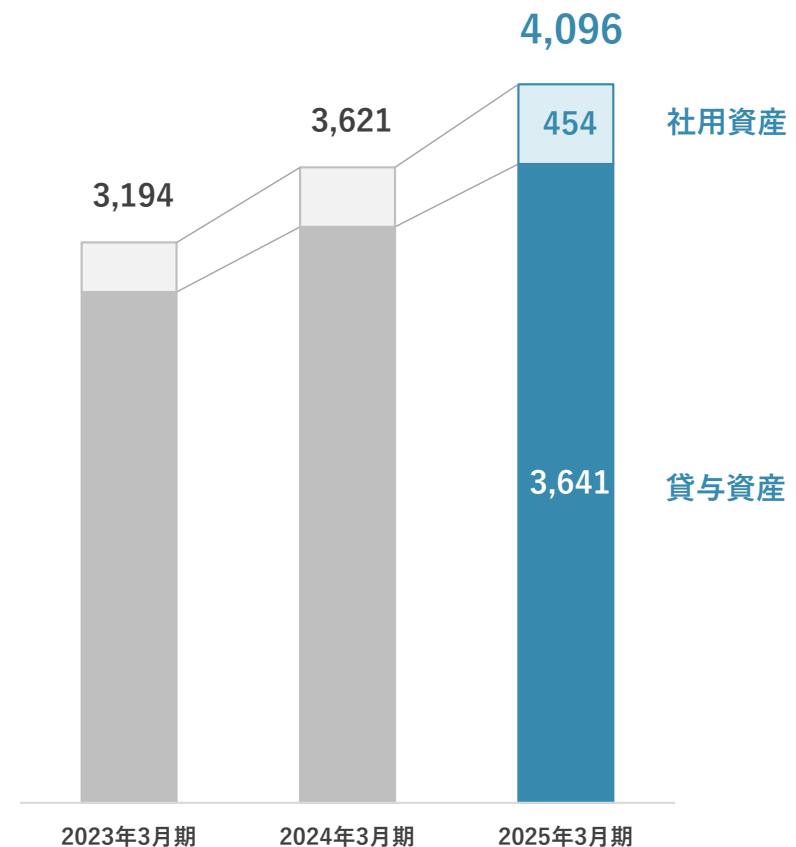
単位：百万



店舗展開については、賃貸も含めた土地建物への積極的な投資を継続。貸与資産については、稼働棟数を適時検証し、将来の需要を見込んだ最適な稼働率の範囲内での投資を引き続き行った。

減価償却額推移

単位：百万



当期の設備投資は若干減少したものの、前期の設備投資ならびに原価の高騰による償却負担が増加となった。

2025 年 3 月期 通期

決算概況－セグメント別

当社は2025年1月27日の適時開示のとおり、
2024年11月29日付けで当社の子会社であったNAGAWA OY CONSTRUCTION Co.,Ltd.の清算が終了したことに伴い、
2025年3月期第3四半期会計期間より非連結決算に移行しました。

2025年 ▶ 単体

2024年 ▶ 連結

セグメント別

	連結	連結	単体	YonY	
	FY2023 22年4-3月	FY2024 23年4-3月	FY2025 24年4-3月	増減	増減率
※単位：百万円					
売上高合計	31,652	32,576	35,294	2,718	8.3%
ユニットハウス事業	26,332	26,470	29,099	2,628	9.9%
モジュール・システム建築事業	4,196	4,925	5,238	313	6.4%
建設機械レンタル事業	1,123	1,181	956	△224	△19.0%
営業利益合計	4,308	4,241	4,299	58	1.4%
ユニットハウス事業	3,907	3,516	3,591	74	2.1%
モジュール・システム建築事業	366	729	711	△17	△2.4%
建設機械レンタル事業	84	40	40	-	-
全社消去	△50	△45	△44	-	-

※前年・前々年は、連結決算の数値です。

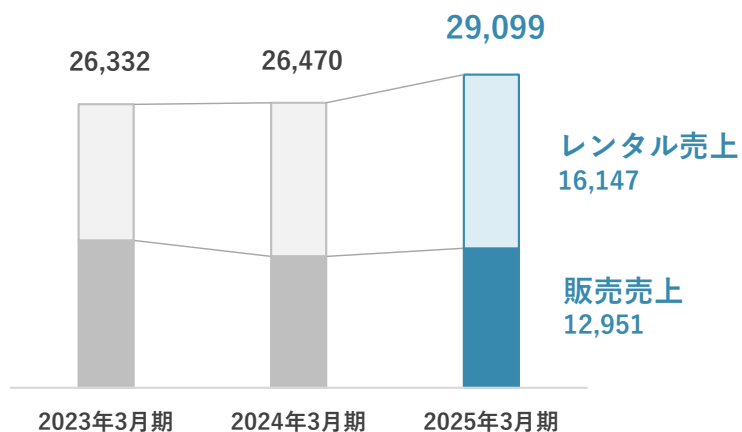
ユニットハウス事業

販売においては、常設展示場の出店を継続的に拡大するとともに、販売イベントの実施やインフルエンサーを活用した集客施策を通じて付加価値を高め、販売強化に重点を置いた積極的な営業活動を行いました。

レンタルについては、大阪・関西万博に関連する需要や、震災復興需要の高まりによる稼働の増加を受け、レンタルハウスの増産を積極的に行うことで高い稼働率の維持に努めてまいりました。

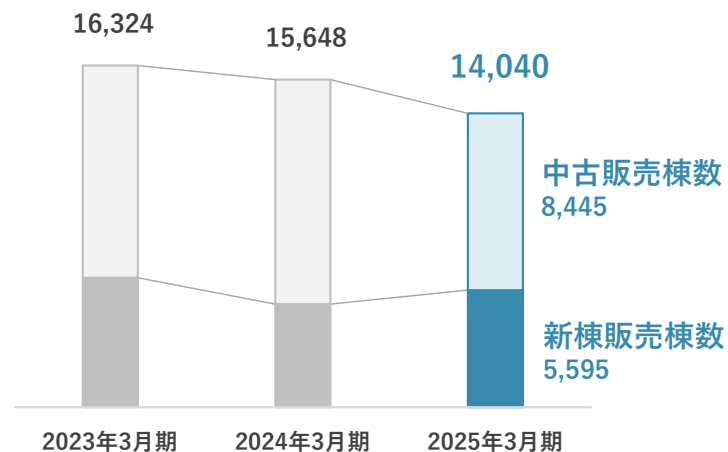
販売売上とレンタル売上

単位：百万円



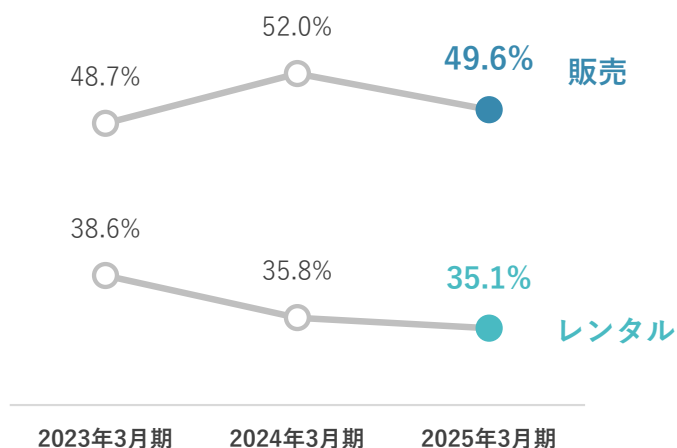
販売棟数

単位：棟



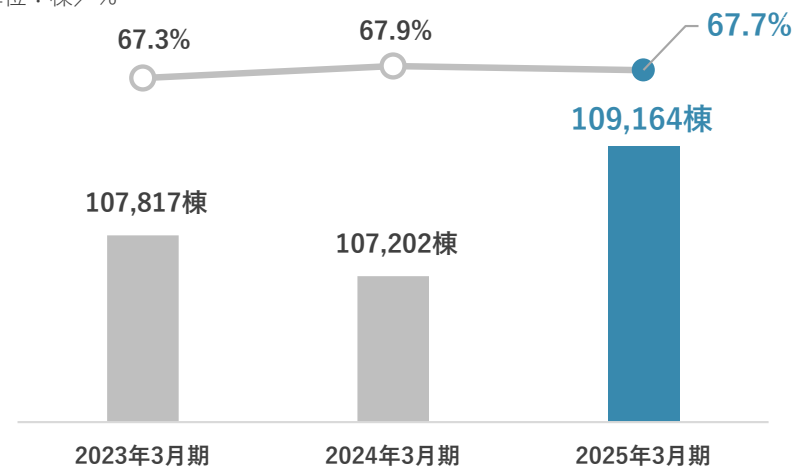
売上総利益率

単位：%



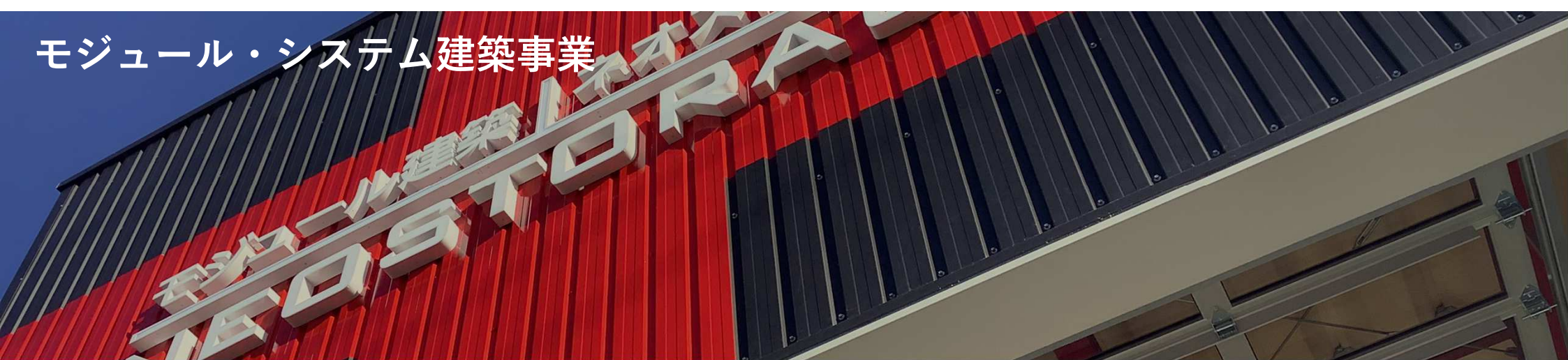
保有棟数と稼働率

単位：棟／%



※前年・前々年は、連結決算の数値です。

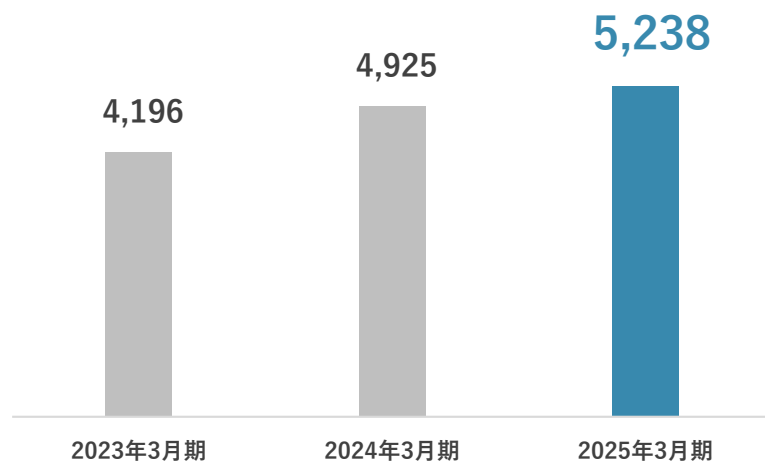
モジュール・システム建築事業



展示場の出店効果も寄与し、幅広い業界・業種からの需要が増加したことにより、法人の設備投資案件などの大型物件を含めて受注が拡大いたしました。
その結果、売上高は前期比約6%増となり、期末受注残も堅調に推移した。

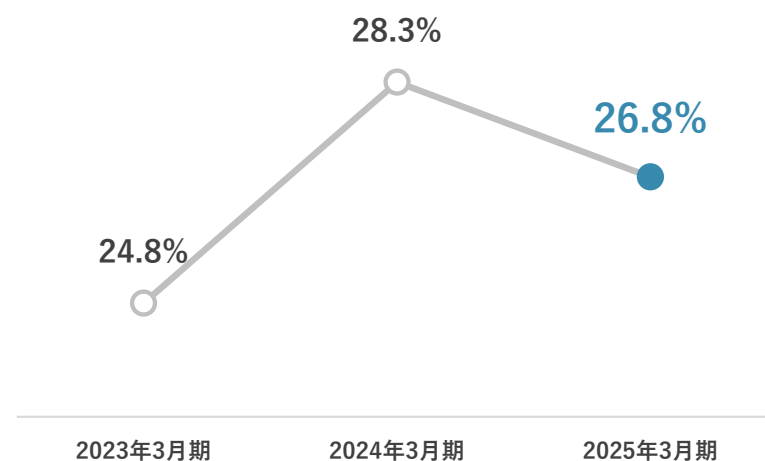
売上高推移

単位：百万円



売上総利益率

単位：%



※前年・前々年は、連結決算の数値です。

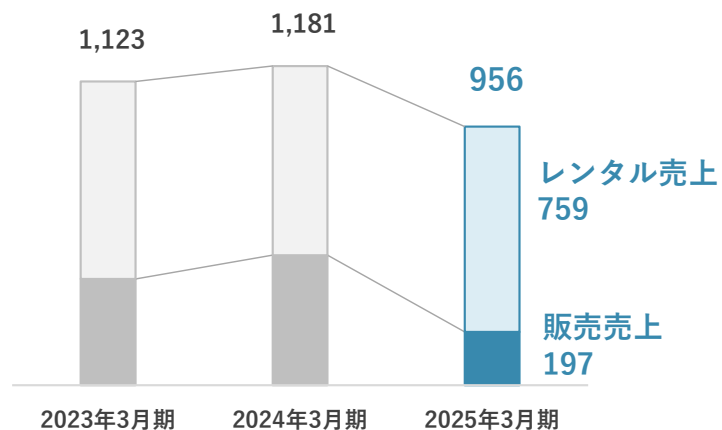
建設機械レンタル事業



販売においては、自社建機販売の抑制をかけたため減収となったものの、レンタルについては、北海道新幹線の工事進捗などが追い風となり、稼働率の押し上げに寄与しました。
また、付加価値レンタル強化を目的として環境対策にも注力してまいりましたが、一般的な建設工事向けの需要は横ばいで推移しました。

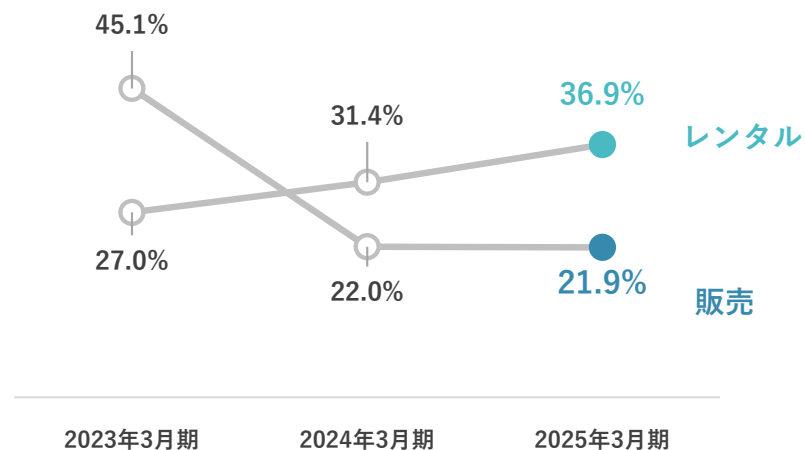
販売売上とレンタル売上

単位：百万円



売上総利益率

単位：%



※前年・前々年は、連結決算の数値です。

2026 年 3 月期
業績見通し

業績見通し

	連結	連結	単体	YonY	
	2024年3月期 23年4-3月	2025年3月期 24年4-3月	2026年3月期 25年4-3月	増減	増減率
売上高	32,576	35,294	38,000	2,706	7.7%
営業利益	4,241	4,299	5,500	1,201	27.9%
経常利益	4,643	4,803	5,700	897	18.7%
当期純利益 (※)	3,119	4,213	4,000	△213	△5.1%
総資産	66,876	69,758	70,000	242	0.3%
純資産	59,725	61,672	64,000	2,382	3.8%
自己資本比率 (%)	89.3	88.4	91.4	3.0pt	-
1株当たり純資産	3,800.91	3,946.26	4,070.00	123.74	3.1%

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益を示す。

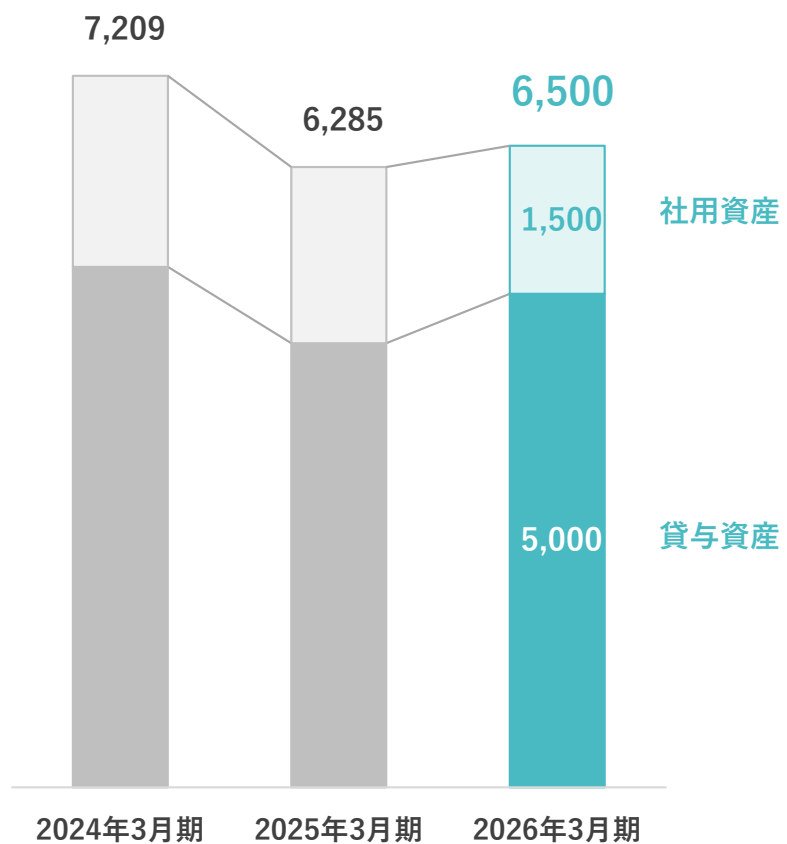
業績見通しーセグメント別

	連結	連結	単体	YonY	
	2024年3月期 23年4-3月	2025年3月期 24年4-3月	2026年3月期 25年4-3月	増減	増減率
※単位：百万円					
売上高合計	32,576	35,294	38,000	2,706	7.6%
ユニットハウス事業	26,470	29,099	28,000	△1,099	△3.7%
モジュール・システム建築事業	4,925	5,238	8,500	3,262	62.2%
建設機械レンタル事業	1,181	956	1,500	544	56.9%
営業利益合計	4,241	4,299	5,500	1,201	27.9%
ユニットハウス事業	3,516	3,591	4,600	1,009	28.1%
モジュール・システム建築事業	729	711	800	89	12.5%
建設機械レンタル事業	40	40	100	60	150.0%
全社消去	△45	△44	-	-	-

設備投資額と減価償却額

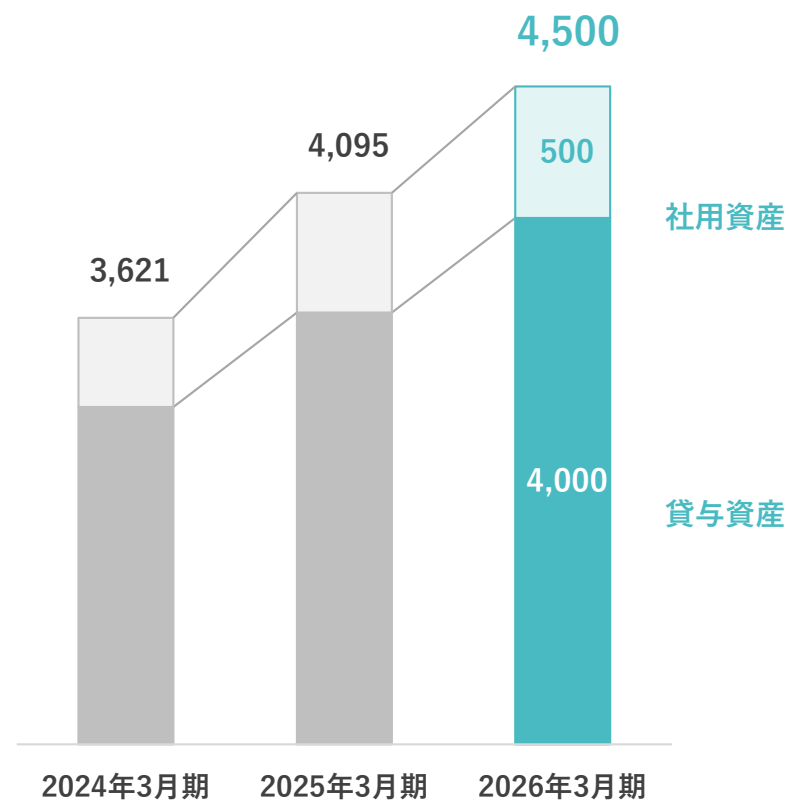
設備投資額推移

単位：百万



減価償却額推移

単位：百万



免責事項

この資料は、株式会社ナガワ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資をおこなう際は投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

※詳細は、当社ホームページより
開示情報をご参照ください。

株式会社ナガワ | IR情報

<https://group.nagawa.co.jp/ir.html>

